

毎月15日は川崎市民地震防災デーです。

S O N A E R U

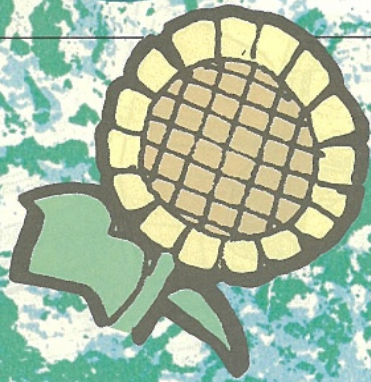
準備

1992
No.78



かわさき防災広報紙

1992年(平成4年)7月21日発行
発行所:川崎市民地震防災センター
編集所:土木局防災対策室
〒210川崎市川崎区宮前町1番地
TEL: (044)200-2411内線2841



SERISE
第2回

ライフラインを守れ!

「便利なのが当たり前?」

テレビ・冷蔵庫・クーラー・蛍光灯...私たちの便利な暮らしを約束する「電気」。現代社会は、電力に依存することなしでは成り立ち得ません。地震時でも一度停電すれば、産業や経済をはじめ社会全般に及ぼす影響は図り知れません。実際に、過去の地震の際には、停電により、家庭生活だけでなく、信号の停止による交通渋滞、放送の停止による情報の混乱、動力の停止による生

産の障害など、様々の波及的な影響が発生しているのです。電力設備や施設の耐震性は強く、過去の地震では、新潟地震で5日、宮城県沖地震で2日というように、復旧は比較的短期間でなされました。最近では、突発的な事故により停電となった場合にも、逆方向から送電できるような設備づくりや、高所作業車等の特殊車両の導入による復旧時間の短縮化が図られています。

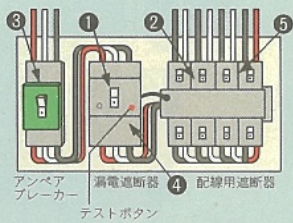
「停電だ!あわてないで、どこが停電なのかを調べて、原因を考えてみましょう。」

ケース1 自分家だけが停電した場合

電気器具を一度にたくさん使い、契約アンペアをこえたために、アンペアブレーカーが切れることがあります。使っている器具の数を減らし、アンペアブレーカーのつまみを上げてください。

- ① 漏電遮断器が切れているのを確認
- ② 配線用遮断器を全部切っておく
- ③ アンペアブレーカーが入っていることを確認
- ④ 漏電遮断器を入れる
- ⑤ 配線用遮断器を一つずつ入れていく

このとき再び漏電遮断器が切れたら、その配線が漏電が使い過ぎです。その配線用遮断器を切ったうえで電気をお使いください。使えない配線は漏電のおそれがありますので、すぐに東京電力が電気工事店に点検を依頼してください。



⑤で漏電遮断器が切れない場合は、テストボタンを押し、正常に作動することを確かめてからお使いください。

ケース2 ご近所一帯が停電のとき

台風や落雷、自動車事故などによって、東京電力の設備が故障し、停電す



自分の家だけが停電した場合



近所も停電した場合

パソコンにはCVC Fを

(無停電電源装置)

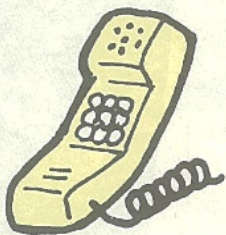
パソコンなどコンピュータ機器にとって、問題なのは停電、落雷などによる瞬時の電圧低下による誤動作、データの消滅を招く場合があります。そうしたトラブルを防ぐのがCVC F(無停電電源装置)です。電源が切れてもしばらく安定して電気が供給され、データ等を保存することができます。



「ライフライン施設に大規模事故発生! そのとき...」

川崎市では、このたびライフライン関係機関である東京電力・東京ガス・N T Tと「ライフライン大規模事故に關する川崎市防災行政無線の活用に関する申し合わせ」を結びました。これは電気・ガス・電話といった公共サービスが万一の事故により支障をきたし、その被害が広範囲にわたり、市民の皆さんに重大な影響を及ぼすおそれがあるとき、その事故に関する情報を、速やかに、そして広い地域に伝達する手段として、防災行政無線を用いることを内容としたものです。

ライフライン関係機関からの依頼を受けた川崎市は、防災行政無線を用いて、どこで何が起きているかへいつ復旧するかへ市民の皆さんが注意すべきことについてお知らせします。



電気のことでお困りのときは

- 東京電力
- 川崎支社
- (川崎区・幸区・中原区の東横線以東) ☎044-233-9111
- 高津営業所
- (高津区・宮前区・中原区の東横線以西) ☎044-822-4181
- 生田営業所
- (多摩区・麻生区) ☎044-933-2727

ために…セーフティタウン SAWASAKI

会場：さいか屋川崎店6階催場

川崎地下街「アゼリア」

チネピアアツア(チネチッタ前広場)

主催：国土庁・川崎市・防災週間推進協議会

産業振興会館

アゼリア会場

Attention——注目！

「怖かった!」「恐ろしかった!」——これまでに、あなたはさまざまな災害体験談を聞いたことでしょうか。今回はたっぷりとく見ていただきます。防災フェア'92の入口となるアゼリア会場では、これまでに発生した、世界各地の災害の貴重な映像や写真をたくさんご紹介いたします。

(主なコーナー)

- ・世界・日本の大災害の紹介
- ・川崎市の災害紹介
- ・ステージによる楽しいイベント
- ・防災ポスターコンクール作品の展示
- ・川崎市消防音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技
- ・川崎少年少女合唱団コンサート



オープニングパレードコース

オープニングパレード

〈日時〉 8月27日(木)午前10時30分～11時30分(小雨決行)

〈コース〉 平和通り～市役所通り～銀柳街～チネピアアツア

(チネチッタ前広場)

防災フェア'92のオープニングセレモニーの一つとして、防災パレードを行います。川崎市消防音楽隊・カラーガード隊を始め、市内の小中学校の鼓笛隊や川崎古式消防保存会など約10団体の参加による、色彩鮮やかな、華やかで楽しいパレードです。



防災講演会

広く市民の皆さんに、防災について関心と理解を深めていただくために、東京大学の阿部勝征教授と、NHKの柳川喜郎解説委員をお招きして、防災講演会を開催します。

〈日時〉 8月29日(土) 午前10時00分～正午

〈場所〉 川崎市産業振興会館大ホール (幸区堀川町)



チネチッタ前広場)

起震車による震度体験コーナー



▲濃煙体験コーナー

防災フェア'92

生きる人の
KA

みんなで守ろう わが家 わがまち

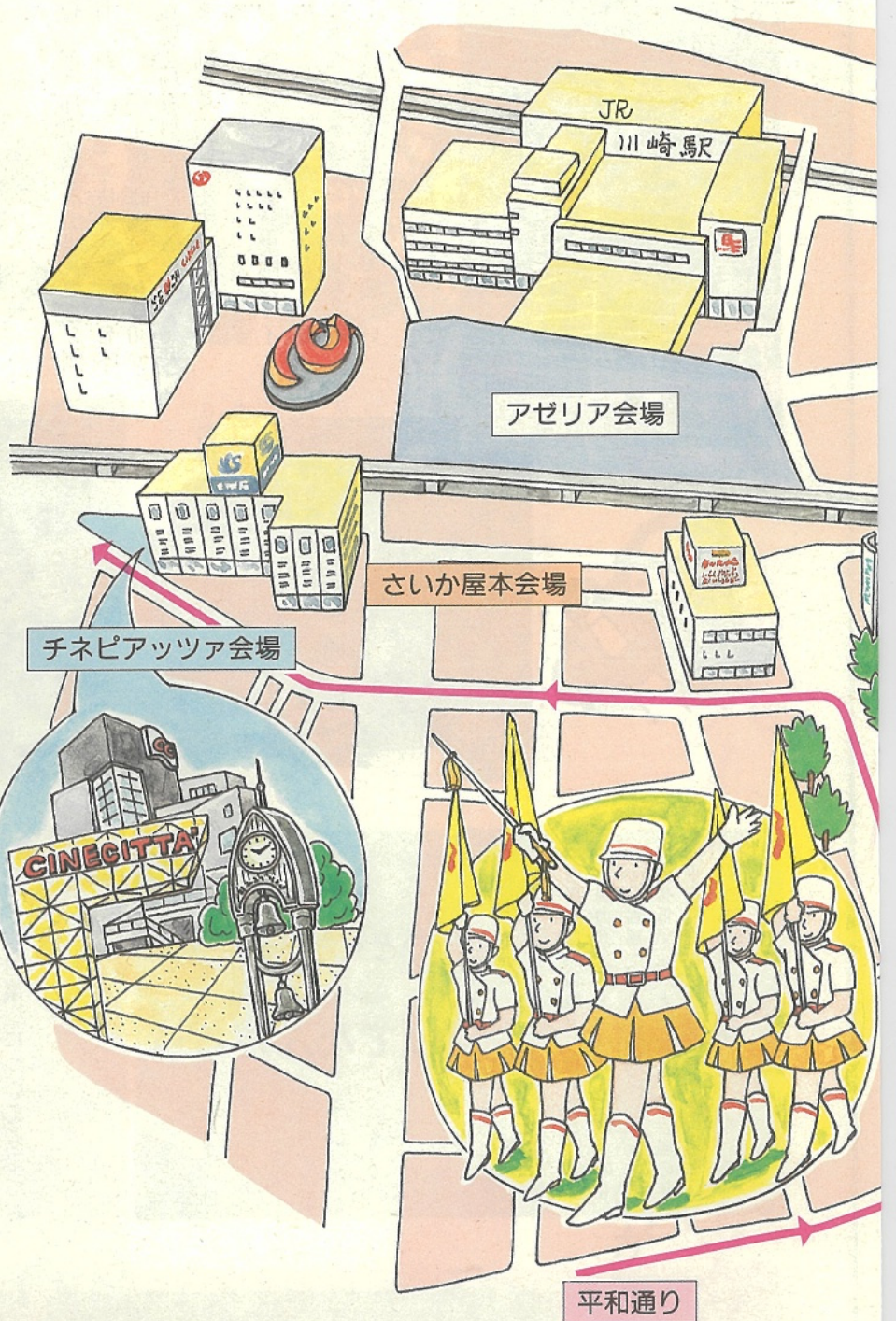
8月27日(木)～9月1日(火)

午前10時～午後7時(チネピアツツア会場は、午後5時終了)

昔から怖いものと言えば、(地震、雷、火事、親父。)と相場は決まっていたもの。親父の権威こそ失墜した(?)けれど、地震と火事は古今を問わずやっぱり怖い!台風、大雨、崖崩れ。これも怖い!でも、むやみに怖がってばかりいてはいけません。何より怖いのは(知らないこと)なのです。

〈災害についての正しい知識を身につけ、災害を正しく恐れよ。〉というのは防災対策においてはよく言われることです。「防災フェア'92」は、〈災害に備えて何をしたらよいか?〉〈いざ災害が発生した場合どのように行動すればよいか?〉あなたのこんな疑問と不安に答える様々なコーナーと、楽しいイベントをご用意いたしました。どうぞ、ハイテクを駆使した展示物をご覧ください。過去の災害の貴重な映像に驚いて下さい。シミュレーションによる災害体験で心の準備をよろしくお願ひします。そして何より、恐ろしい災害のことを、肩の力を抜いて、楽しく学んでみて下さい。

あなたの愛する人の生命を守るために、川崎市は国や防災関係機関をはじめ、地域に住む皆さまとの連携協力のもと、〈災害に強いまちづくり〉に取り組んでいます。



さいか屋本会場 (6階催場)

Memory——学ぶ

「防災対策」ってナンだろう。意外なところで、意外な「防災対策」が私たちの暮らしを守ってくれています。さいか屋会場では、ふだんは紹介されない、関係機関の裏ワザとも言える「防災対策」の数々を一挙公開いたします。楽しいイベントもをご用意しました。

(主なコーナー)

- ・関係機関の防災対策紹介
- ・防災クイズコーナー
- ・奥山佳恵のミニイベント・サイン会
- ・キャラクターショー
(ドラゴンクエスト・ダイの大冒険とスーパービックリマン)



気象庁イメージガール

奥山佳恵

たくさんのご応募ありがとうございました!

…防災ポスターコンクール…

防災フェア'92開催に先立ちまして防災ポスターコンクールを実施したところ、小学生999名、中学生63名、高校生4名もの多数のご応募をいただきました。本当にありがとうございます。国土庁で行われました作品審査では、全国から送られてきた優れた作品の中から、上丸子小学校4年生の角香織(かどかおり)さんの作品が、見事佳作に入選されました。おめでとうございます。

川崎市でも、ご応募いただいた作品の中から、川崎市長賞を選出し、表彰いたします。(入賞者には、直接、土木局防災対策室よりご連絡いたします。)

なお、ご応募いただいた作品は、防災フェア'92期間中、地下街アゼリアにおいて展示しますので、どうぞご家族皆さままでご来場下さい。



▲「上丸子小学校4年生 角香織さんの作品」

チネピアツツア会場 (チ)

Experience——体験する

もしも今、大地震が起きたら、火災が発生したら……あなたは慌てず、そして恐れずに正しい行動がとれますか? チネピアツツア会場では、シミュレーションによる災害体験を通して、あなたに「こころの準備」をしていただきます。

(主なコーナー)

- ・起震車による震度体験コーナー
- ・濃煙体験コーナー
- ・救急体験コーナー
- ・119番通報体験コーナー
- ・大声コンテスト
- ・防災クイズコーナー



平成4年度 川崎市総合防災訓練



大地震を防ぐこと、それは私たち人間にはできません。しかし、その地震による被害を最小限にとどめることはできます。それには皆さん一人ひとりが地震に対する正しい知識を持ち、正しい行動をとることが必要です。そして、その正しい知識やいざというときの行動力を身につけることができるのが防災訓練なのです。

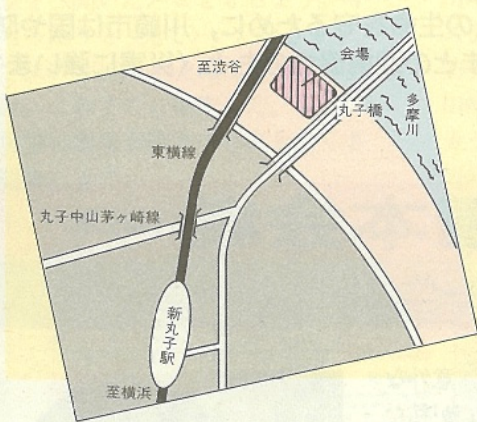
川崎市では、毎年9月1日「防災の日」を中心とする「防災週間（8月30日～9月5日）」に、市民の皆さんの参加を得て防災訓練を実施しています。

本年度は、中原区に中央会場を設けるほか、川崎駅前では、「防災フェア'92」の一環とした訓練を実施する予定です。また、自主防災組織や町会・自治会、学校や職場でもそれぞれの実情に応じた訓練を実施していただくようお願いをしています。皆さんもぜひ「自分の身は自分で守る」という意識を持って、防災訓練に参加してください。

1 中央会場

①場 所 中原区丸子橋周辺多摩川河川敷
②日 時 平成4年9月1日(火)
午前10時00分～11時30分

住民、自主防災組織、防災関係機関等と行政が一体となって、総合的な訓練を中原区の広報避難場所を利用して実施します。



2 川崎駅前会場

①場 所 JR川崎駅前広場ルフロン側
②日 時 平成4年8月27日(木)
午前9時00分～9時30分

高層建物を利用した救出救護や火災防ぎ訓練を実施します。

※なお、各会場では、緊急車両のサイレンやヘリコプターの飛行音など、近隣の皆さんにご迷惑をおかけしますが、よろしくご協力くださるようお願いいたします。



台風襲来！ あなたのお宅は大丈夫？

昨年は、平年よりも倍近い9個もの台風が日本に接近しました。そのうちの3個が上陸し、中でも18号は9月19日午後、房総半島沖を北北東に進み、本州南岸に停滞していた秋雨前線の活動を刺激しました。この影響により、東海から関東地方にかけて大雨となり、神奈川県内の各地で200ミリ以上の大雨を記録し、川崎市内においては床上・床下浸水約600棟、がけ崩れ約30箇所（高津・宮前・多摩・麻生区）の大きな被害を出しました。

さて、今年も台風シーズンの本格的な到来です。皆様のお宅でも、もう一度家の中や周辺を点検して、「わが家の台風対策」について考えてみて下さい。

ひとくちメモ

台風ってなんだろう

台風とは熱帯地方で発生する低気圧で、風力8(17・2m/s)以上のものを「台風」、それ未満のものを「弱い熱帯低気圧」と呼びます。台風の年間平均発生数は27個ぐらいで、日本に上陸するのはそのうち3～5個程度です。

チェックしてみよう！

◎あなたの家の台風対策診断◎

下記の項目をチェックして、再点検を！（1項目1点で計算して、ポイント別評価表で診断してください。）

家の中では……

- Q1. 停電に備えて懐中電灯やトランジスタラジオの準備は？
- Q2. 断水に備えて飲料水の確保はできていますか？
- Q3. 避難に備えて貴重品などの非常持出品の準備は？
- 家の周辺では……
- Q4. 屋根瓦のひび、割れ、ずれ、はがれはありませんか？
- Q5. 窓ガラスにひび割れ、窓枠のがたつきはありませんか？
- Q6. 外壁に亀裂はありませんか？

- Q7. ブロック塀にひび割れ、破損箇所はありませんか？
- Q8. 雨どいに落ち葉や土砂が詰まっていますか？
- Q9. 雨戸にがたつきやゆるみはありませんか？
- Q10. プロパンガスのボンベは固定されていますか？
- Q11. 鉢植えや物干し竿などが風に飛ばされる危険はありませんか？
- Q12. テレビアンテナの設置状態は大丈夫ですか？

《評価表》

- 1～3点の方
台風に対する備えが不十分です。台風襲来までに、もう一度厳重な点検をして下さい。
- 4～6点の方
台風に対する備えがまだ足りません。「まさか」ではなく、「もしかしら」という心構えで台風対策を。
- 7～9点の方
あなたのお宅の台風対策は、もうひとがんばりです。見落としていた点はすぐに改善するようにしましょう。
- 10～12点の方
あなたのお宅の台風対策は、とりあえず万全です。台風に関する気象情報に注意して、油断しないで下さい。